

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

4月の月間 環境月間

本日の例会プログラム 第2192回例会 令和6年5月13日

- ・結婚・誕生セレモニー
- ・会員卓話 蛭原 学 会員
- ・ロータリー情報 杉本英一 委員長

会長挨拶

井上竜志会長



みなさん、こんにちは。ゲストの紹介をさせていただきます。

本日は、元鵬翔高校サッカー部監督でいらっしゃいます、松崎先生にお越し頂いております。どうぞ最後までごゆっくりお過ごしください。先生には後ほど、職業奉仕賞の授与いたしますので、その時に詳しく経歴など紹介させていただきます。宜しくお願い致します。

先週は、水曜日に井野元委員長のご高配により、ガーデンテラスのホテル増築竣工祝賀パーティに招待いただきまして、村野幹事と行ってまいりました。

盛大な祝賀パーティでして、大迫PG、大迫会長エレクトもご一緒でした。お疲れさまでした。

ガーデンテラスは、増築竣工に合わせて、「メイビア」と改名されています。

中に入りますと、中庭にはプールがありまして、とても開放的な雰囲気の新設計で、街中の高級リゾートホテルが出来上がっております。

もちろんですが、名高い建築家隈研吾氏の設計です。いつかは、そのような高価なホテルに泊ってみたいものです。

月曜日には、次年度の新クラブ協議会が開催され、大迫会長エレクトのエンジン始動といったところでしょうか。次年度の運営基本方針が発表されたところです。新たに役員になられる方も、役員を得意とされる方も、一緒になって、大迫会長を盛り上げていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお祈りいたします。

出席委員会報告

山地久守副委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(52)55名	メイクアップ数	6名
本日欠席者数	20名	修正出席率	73.58%
本日出席者数	35名	メイクアップされた方(敬称略)	大田寛子、鈴木浩二、寺村明之
出席率	67.30%		中川英治、吉野恒男、増田拓朗
ニコニコBOX	0件 累計 207,000円	募金箱	5,356円 累計 170,098円

来月5月は、GWもありますし、特別休会が続きますので、例会は2回しかございません。カレンダーを参考に予定を組んで頂いて、間違えないように貴重な5月例会参加を宜しく願います。

それでは4月最後の例会宜しくお願いします。

幹事報告

村野 裕幹事



① 特別休会のお知らせ

5月27日の例会は、タイ訪問の日程と重なっており、理事会にて特別休会といたしました。

プログラムの記載について、誤っておりましたので、訂正しお詫びいたします。

② MYロータリー登録のお願い

皆様のご協力の元、順調に登録者数が増えております。

引き続き、まだ登録をされていない方は登録をお願いいたします。

③ エコキャップについて

今回の受領個数は7,998個でした。ご協力頂いた皆様有難うございました。

引き続きご協力のほど、宜しくお願いいたします。

職業奉仕賞

松崎博美氏

推薦者 黒田福太郎会員



○受賞者名 松崎博美氏 (73歳)

宮崎市在住

鵬翔高等学校サッカー部アドバイザー

Central F.C MIYAZAKI 代表理事長

ヴェロスクロノス都農 運営

株式会社 J.FC 宮崎 名誉会長

株式会社 M-LABO 取締役会長

現在 宮崎ドリムFCシニアチームに所属

○推薦会員 黒田 福太郎

○推薦理由

宮崎農業高校をご卒業後、自動車整備士として働きながらサッカーをプレーされ、1983年に宮崎中央高校（現：鵬翔高等学校）の初代監督に就任し1987年度の全国高校サッカー選手権で初出場に導かれました。総監督を含め35年間、全国高校サッカー選手権に計13回出場されました。

2012年度の第91回全国高校選手権大会では、宮崎県勢として悲願の優勝を果たされました。

教え子に元日本代表FWの興梠慎三（浦和レッズ）選手をはじめ数多くのJリーガーやサッカーの指導者を育成されました。

総監督退任後はクラブチームの会長など様々な役を務めていらっしゃいます。

宮崎県サッカー界に大きな功績を残され、青少年スポーツ活動の振興に多大な貢献をされました。また、昨年はシニアの方もサッカーを楽しんでもらうために、「オーバー70」のチームの監督・プレイングマネージャーもされており、宮崎をシニアサッカー大国にするため県民にアピールしご尽力されています。

上記の理由により、今年度の職業奉仕賞を松崎博美氏に贈呈致します。



会員卓話

大野 勇会員



皆様、こんにちは。インターアクト委員会委員の大野 勇と申します。

この度、入会以来初めての会員卓話の時間を頂きましたので、大変恐縮ですが新入会員の気持ちで私自身の紹介を含めお話をさせて頂きたいと思っております。

私は、昭和52年生まれの46歳

塗装業（ペンキを塗る仕事）を生業に、大野塗装の屋号で塗装・防水業として会社を経営しております。

宮崎南ロータリークラブへは、小園会員からの勧めもあり、平成25年10月7日に入会をいたしました、入会から11年となりますが、ほとんどの例会に参加できずにおりますので、初めてお会いする方が半数以上ではないかと反省をしております。

また、宮崎南ロータリークラブの年会費は月1.6万円・年間19.2万円ですので、

19.2万円×11年=2,112,000円

私は会社の経費から年会費を収めておりますので、会社として200万円あったら何ができるか？

会社のパソコン総入れ替えできます。

会社のトラックが1台増えます。

福利厚生は社員旅行で北海道ぐらいいけるかも。

なかなか出席できていないことに対して、会社や社員に申し訳なく思うところです。

それでは、私の自己紹介をさせていただきます。

1977年、昭和52年4月に父（勇三ゆうぞう）・母（絹子きぬこ）との間に、第三子の長男として生を受け、父（勇三ゆうぞう）の勇の字をもらい、勇（いさむ）と名づけられました。

来週4月28日で47歳となります。

末っ子の長男ということで、2人の姉からも可愛がられ育てられ、幼稚園は「あけぼの幼稚園」小学、中学は中川会員と同じ地元の大塚小・大塚中を卒業し、高校は鵬翔高校に入学、3年時には学級委員長を務めるなどして無事に卒業。

卒業後、3年ほど他の会社で塗装現場作業に従事し、その後、大野塗装へと入社しました。

そこから、現場作業、現場管理、営業と経験を積みまして、平成16年26歳のときに代表を交代し現在にいたっております。

家族構成は、嫁と子供3人（長男24歳・長女19歳・次女17歳）長男は就職し家を出て一人暮らしを満喫中、長女は大学1年生でオーストラリアへ3年間の留学中、現在、妻と高校2年生の次女との3人で薫る坂の方で寂しく暮らしております。

妻との出会いは、高校1年生の時でした。私の通っていた鵬翔高校の同級生です。

本日は、職業奉仕賞の受賞で、高校当時のサッカ

一部監督でした松崎先生がいらしておりますので、
鵬翔高校サッカー部の話を少しさせていただきます。

黒田会員から話がありましたように、30年も前の話ですので少々お聞き苦しい点等があるかと思いますがご了承ください。

私は、小学校4年生からサッカーを始め、中学校ではゴールキーパーとなり、県内でも結構名の売れた選手として活躍できたと自負しております。

中学3年生時には、県の選抜チームに選出されました。ほとんど勉強はしておりませんでした。高校進学は、なんとなくサッカーで行けるのではないかと考えていました。当時宮崎市内でサッカーの強い学校は、鵬翔高校・宮崎工業高校・日章学園の3択となります。

中学3年の夏の大会が終わると、まず、日章学園に進学した1つ上の先輩から練習に参加しろと呼ばれ、2日間ぐらい練習に参加させて頂きました。ここでは、先輩たちに「いいねえ～・上手いねえ～」と褒められ、休憩時にはスポーツドリンクまで配られました。明らかに怪しかったのと、自宅から学校まで自転車で1時間は無理だと考え、日章学園は断念しました。

次に、宮崎工業高校へ進学した先輩より「うちの監督が工業に来ないか？と言ってるぞ」と誘われました。自宅から自転車で15分。県立だし魅力的ではありましたが、「入学試験は自分の学力で受かってくれ」とのこと、これは無理だとこちらも断念となりました。

最後に、鵬翔高校。自宅から自転車で20分。当時の女子の制服は、森英恵さんのデザインで可愛い。男子もブレザーにネクタイでカッコいい。地元の先輩もサッカー部にはいない。そして体育科という勉強をしなくていいクラスがある。

そんなこんなで鵬翔高校に進学となりました。当時の鵬翔高校は、宮崎中央高校の時代から合せ、10年連続で県大会の決勝へ進出し、内3回ほど全国大会へ出場するサッカー強豪校としてすばらしい学校でした。

そのため、もちろん練習はハードでした。

まず、体育科というクラスは、週の3日は午前中に事業が終わり、お弁当を食べたら午後から部活…。サッカー好きにはたまらなく良い環境だったでしょうが、私にはちょっときつかった思い出があります。

当時の部活動は、まだまだ「水飲むな」の精神論の時代でしたので、いかに監督にわからないように水を飲むのか、水分補給ができるのか！を一生懸命考えていました。

まずは練習が始まる前に先輩に言われ、水を入れたペットボトルを河川敷の土手の裏に隠しておきます。

次に、シュート練習が始まり、私たちはゴールの横や裏で、ゴールを外れたボールを拾わなければならないのですが、しばらくすると、本気なのかわざとなのか、ものすごいシュートをゴールの枠を外

し土手の裏へ蹴り込む先輩がでできます。

ここで先輩と私の「アイコンタクト」です。

グーグル辞書で「アイコンタクト」しらべると、視線を合わせることで互いの心を理解すること。特にサッカーなどのスポーツで、次のプレーの意思表示として選手どうしが行うもの。

とでできます。

この先輩は、本当にミスしてゴールを外してしまったのか？土手の裏に隠した水を飲みたくてわざとゴールを外したのか？先輩の目をみて、何を考えているのか瞬時に判断しなければなりません。水が飲みたくてわざとゴールを外したボールを私が拾ってしまうと、先輩は水が飲めなくなり、後で怒られるので私も必死です。

うまく「アイコンタクト」が通じ、先輩が自分で土手向こうのボールを拾い、水を飲んで返ってくると、また「アイコンタクト」でありがとうと返ってきます。辛い練習の中で、良いことしたなあと感じる瞬間でした。

これが鵬翔高校サッカー部「練習中の水分補給について」となります。

この他にも、「筋トレ室でのサボり方について」・「喫煙（タバコの吸い方）について」・「監督の見張り役について」等がありますが、これは松崎監督がいらっしゃる時にお話ししたいと思います。

そんな鵬翔高校は、2013年に宮崎県勢として初の全国大会で優勝を成し遂げ、昨年は、創部40周年を迎えております。これからの更なるご活躍を期待いたします。

さて、話を戻し、嫁との出会いは高校1年生、15歳の冬でした。付き合い始めたのが、12月20日なので、記念日として忘れないように、銀行系のキャッシュカードの暗証番号は全てのカード〇〇〇〇に統一しています。

7年間の付き合いを経て、2000年に結婚し24年目となります。15歳からの付き合いですので、かれこれ30年以上、人生の半分以上を一緒に過ごしております。

毎日毎日、仕事だ、飲み会だ、と帰りが遅くブクブク太った私に何も言わずにいてくれて感謝です。

太ったといえば現在の私の体重は100キロです。こう見えても20代前半で現場作業をしていた頃は、体重65キロ程でした。20代後半から営業職になると会食や飲み会が増え、30歳頃には80キロ台へ突入。30歳代は様々な団体での要職を受けたこともあり暴飲暴食が続き、40歳で自身最高体重105キロに到達。

これではまずいと、当時流行っていた、トレーナーさんに付いてもらい筋トレしたり、糖質制限してみたりとライザップ的な事をやって、6ヶ月で、30キロの減量に成功し75キロまで落としました。しかし、すぐにリバウンドし100キロに逆戻りです。

こんな私ですが、これからできる限りの例会、事業に参加し、皆様との交流を深めていければと思います。今後ともよろしく願いいたします。



①

年々増え続ける
高齢者や
生活保護者などの
孤立死（孤独死）
2024年3月27日付
宮崎日日新聞掲載記事



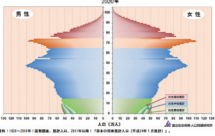
②

なぜ孤独死は増えているのか

- 未婚者の増加
- それと連動するように単身世帯が増加
- 特に高齢者層の単身世帯（いわゆる独居老人）の割合が上昇
- 核家族化が進み、高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯が増加

③

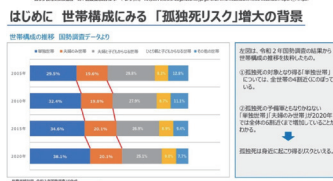
団塊世代と団塊ジュニア



④

国土交通省の調査によると
2003年時点では
65歳以上の高齢者による孤独死は1,441件だったが
2018年には3,867人と15年でおよそ2.7倍増加
していることが分かった。

⑤



⑥

「老後は賃貸を借りられない」のは本当？



⑦

No!
単身入居を希望する
入居者は今後もどんどん
増加するにも関わらず...
入居を拒否する
大家さんや
不動産会社が続出!

⑧

No!
孤独死された時の
近隣住民からの苦情が心配
No!
孤独死された時の
原状回復費用が心配
No!
孤独死された時
を考えると
精神的にも
不安が大きい

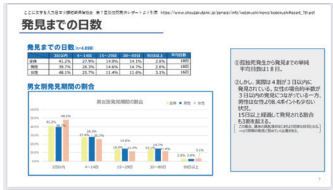
⑨

孤独死が起きた時の困り事
長期間遺体が放置され腐敗が進むと
部屋の損害が大きくなる

⑩

孤独死が起きた時の困り事
腐敗臭で近隣住民が迷惑がる
原状回復費用の負担が大きい

⑪



⑫

孤独死発生に伴う損害額と支払保険金額 (任意) (任意) (任意) (任意) (任意) (任意)

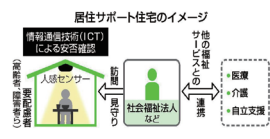
項目	金額
健康増進費	100,000円
原状回復費用	100,000円
家賃保証	100,000円

⑬

「見守り付き賃貸」創設 単身高齢者ら
入居しやすく一国交省
国土交通省は、単身高齢者らが賃貸住宅に入居しやすいよう、
社会福祉法人などによる見守り機能が付いた「居住サポート住宅」
を創設する。入居者の生活を徹底的に支援するとともに、
大家が安心して物件を出し続ける意欲を高めるのが目的で、自治体
が認定する仕組みを設ける。併せて、入居者の家賃債務保証を
引き受ける業者が期待する制度も創設。住宅セーフティネット法の
改正案を閣議中の消費者庁に提出する。
高年齢や障害者などは、孤独死した場合の対応や、家賃滞納
などトラブルの懸念から、賃貸住宅入居を控えるケースがある。
こうした住宅確保に配慮が必要な人に対し、現行法では
入居可能な物件を見守りに参加する仕組みがあるが、今後単身
高齢者の増加が見込まれるにに対し、数や質は十分とはいえない。

⑭

見守り付き賃貸イメージ 国交省



⑮

解決すべき社会問題を放置しておくことおきる悲惨な未来
今、この日本で何が起きているのか？
年々増加する**孤独死問題**
生活動作確認システム導入で
高齢者賃貸に革命を。

⑯

このようなお悩みを「en」が解決します！
孤独死早期発見 生活動作確認システム
en

⑰

生活動作確認システム
高齢者
革命を
en

⑱



⑲

「en」のシステム
en

⑳



㉑



㉒



㉓



㉔



㉕

48時間以内に発見！
① 24時間生活動作確認できない⇒本人に連絡
A—連絡取れた(ここで終了)
B—連絡取れない⇒管理会社・大家さんに連絡
② その後12時間(36時間)
もう一度本人連絡
→家族(保証人)・警察に連絡後
管理者と警察で現地確認。
③ 別途料金となりますが、届け付け現地確認代行も致します

㉖

宮崎南ロータリークラブ

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : http://mm-rc.sakura.ne.jp/ e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212